

# 会 議 録

## 1 会議名

平成27年度第9回直江津区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【自主的審議事項】

直江津まちづくり構想について（公開）

## 3 開催日時

平成27年10月7日（水）午後6時00分から午後8時00分まで

## 4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員： 増田和昭（会長）、青山恭造（副会長）、  
池田伸吾、泉 秀夫、伊藤邦雄、今井不二子、小林克美、佐藤光司、  
田村利男、田村雅春、中澤武志、福島 弘、町屋隆之、丸山朝安、  
三上正子（欠席2名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：関川センター長、荒木係長、星野主任

## 8 発言の内容

### 【関川センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【増田会長】

- ・挨拶
  - ・会議録の確認：町屋委員、泉委員に依頼
- 議題【自主的審議事項】直江津まちづくり構想について、事務局へ説明を求める。

## 【荒木係長】

始めに、「新水族博物館を核とした地域活性化検討会」から情報提供があったので説明させていただきます。

- ・参考資料「新水族博物館を核とした地域活性化検討会」及び「実行メンバー検討会（仮）」のスケジュールについて概要説明

続いて、「新水族博物館を活用した直江津のまちづくりを話し合う会 意見集約表」について説明させていただきます。

- ・資料「新水族博物館を活用した直江津のまちづくりを話し合う会 意見集約表」について説明

本日は、資料を参考に、直江津区地域協議会として、何に取り組んでいくか、まずは、短期に取り組むべきこと、優先的に取り組むことを中心に検討していただきたい。

協議の進め方だが、9月25日に開催した住民団体との意見交換時の班に分かれて、それぞれで何に取り組むべきかを話し合い、最後に話し合われた内容を簡単に発表願いたい。

次回の協議会では、班ごとに考えた取組内容をさらに検討していきたいと考えている。

今後、それぞれの班で話し合った取組内容を整理記入する書式を事務局で用意したいと思うので活用いただきたい。

当初から、平成28年度予算要求に向けてを目標に進めることとしてきたが、事務局としては、自治・地域振興課へ進捗状況を報告している中で、今の段階で既に時間的に厳しい状況になっていると認識している。正式に提案する前に担当課を交えて協議していくが、担当課を交えて協議する中で、できることとできないことが出てくる。提案したからといって全てが通る訳ではない。話し合いをしていく中で検討し、実施時期を判断しながら協議を進めていただきたいと思っている。

本日は、取組テーマの話し合いをしていただきたいと思う。

## 【増田会長】

事務局の説明に対して意見等を求める。

## 【田村雅春委員】

取組の「テーマ」というのは大枠を決めるということか。

## 【荒木係長】

そうである。

**【田村雅春委員】**

例えば、資料の「地域（個人・商店・団体）が行うこと」、「協働（市と地域）で行うこと」というテーマなのか、短期に取り組む中から選ぶのか。

**【荒木係長】**

資料には「地域」、「協働」等の実施主体の区分けがあるが、まずは、「取組」という実施内容の項目を参考に、何について取り組んでいくのかを話し合っていたきたい。

**【田村雅春委員】**

班毎に検討する取組が重複してしまうことが想定されるが、それはどうするのか。

**【荒木係長】**

重複してもよいと考えている。

まずは、班毎に取組内容を出していただき、もし、同じ内容があれば、各班の内容を擦り合わせながら進めていこうと考えている。

**【田村雅春委員】**

取組テーマはいくつでもよいのか。

**【荒木係長】**

取組テーマの数は特に決めていない。資料の取組項目は、正・副会長と相談しながら「短・中・長期」に分けてあるが、取り組み方によっては中期のものが短期になったり、短期のものが中期になったりすることもあるかと思うので、中・長期の項目も含めて参考にしていたきたい。

**【田村雅春委員】**

選択も自由、項目も自由。それを2回の地域協議会で協議するということだが、全体をまとめることに関しては10月28日（水）なのか。

**【荒木係長】**

最終的に10月28日にまとまればよいが、地域協議会内で話し合うだけで、例えば市の予算要求ができる訳ではない。担当課を交えて協議する必要がある、それをどの時点で行うかは進行次第ではっきり言えない。その前に、まずは、地域協議会として何に取り組むかを決めなければいけない。

**【増田会長】**

10月28日を目標に各班でテーマをまとめていただき、28日にそれを全部合わせ

て、委員の皆さんから見ていただき、その中から、地域協議会として「これにしよう」とある程度絞り込んだ中で、担当課と話し合いをしていくというやり方が一番よいかと  
思っている。

**【荒木係長】**

10月28日に地域協議会として、担当課と協議するための取組項目を決めるということ  
でよろしいか。

**【増田会長】**

そうである。

他に質問等はあるか。

**【田村雅春委員】**

資料に「取組」とあり、その中でも細かく分かれているが、イメージ的に異なる項目  
もある。これはどのように取り扱うのか。

**【増田会長】**

簡単に言うと、私たちは、短期的に取り組むべきことで予算が必要とされるものを優  
先的に検討しようとしている。予算が伴わないものや、内容が不明確のようなものは今  
回の検討からは除外し、後で考えることとしたい。資料の取組の説明は、端的にしか書  
かれていない。イメージが湧かないものは、皆さんで話し合っ  
て判断していただきたい  
と思う。

**【町屋委員】**

資料にある意見を、予算が必要・不必要に関わらず、全て検討するというのは間違い  
ではない。その中で、予算が関係するものを優先して話し合っていく。10月21日(水)  
と28日(水)で協議を進め、終わった後に全体協議をする、例えば「意見の奥に隠れ  
ていることはこういうことである」という議論をする時間をきちんと設けていただけ  
るよう  
お願いしたい。

**【増田会長】**

例えば「ゆるキャラ」について意見が挙がった場合、班毎に挙げるか挙げないか理由  
があるはずである。「私の班はゆるキャラを挙げた」、「私の班はゆるキャラを下げた。理  
由はこうである」、「では、地域協議会としてどうしたらよいのか」ということを話し合  
い、一定のものを決めていただきたい。縛られて考えることはない。自由な発想で、自  
由にやっていただきたい。

荒木係長からも説明があったが、資料に載っていない事でもOKである。自由に出していただきたい。資料には中期になっているが、短期にしたほうがいいとなれば短期に持ってきてもよい。

他に意見等はあるか。

(意見なし)

では、班毎に分かれて協議をしていただきたい

— 班毎に討議 —

A班

青山恭造副会長、佐藤光司委員、田村利男委員、三上正子委員

B班

小林克美委員、中澤武志委員、福島弘委員、丸山朝安委員

C班

泉秀夫委員、池田伸吾委員、今井不二子委員、町屋隆之委員

D班

田村雅春委員、伊藤邦雄委員、(増田和昭会長)

- ・班討議後、各班の意見発表

【青山副会長】

『A班の意見』

- ・現実を厳しく見つめつつ、将来に亘って必要なものは何か。そのためには観光客の目線に立つ問題と、直江津に住む人たちのことを中心にこの計画を進めたらどうかという方向で話を進めながら、短期項目の中から何に取り組むことがよいのかを見極めた。
- ・マップ作りに関しては、行政は、個々の商店の商業的ができないため、観光客目線に立ったものを作るには物足りないと考える。
- ・商店街・中心市街地活性化推進室で検討している上越教育大学の学生が作るまちづくりのマップに期待している。
- ・例えば、直江津で50人以上を収容できる食堂というのは限られる。マップの中に、「団体専用、個人」の区別、「駐車場の有・無」、「収容人数」、「食堂のおすすめグルメ」等

を入れ込むと非常によい。

- ・案内看板に関しても、情報を盛り込んだ看板を作るのがよい。
- ・金沢や富山は北陸新幹線効果で非常に観光客が増えているが、そこでは、トイレの問題が非常に話題になっているとのこと。
- ・現在設置されている水族館周辺の公衆トイレの現状を考えたが、海浜公園やタコ公園のトイレ、五智歴史の里公園内にあるトイレだけで足りるのか疑問である。
- ・群馬県富岡市では、「私たちのトイレを利用してください」という商店が出てきており、直江津でも実施できないかと考えるが、一般的に直江津は間口が狭く、奥行が長い商店が多数あり、店の奥にトイレがあると使いづらい点はある。
- ・水族館周辺の道路整備の考え方などを確認しながら取組を検討できればよい。

#### 【小林委員】

##### 『B班の意見』

- ・資料を参考に、取組項目を一つずつチェックし、「研究してみよう」、「提案できるのか、できないのか」という観点で抽出した。
- ・「地域（個人・商店・団体）が行うこと」内の『【PR策】：インターネットでの広報、郷土の食文化の案内とお店の紹介』を研究してはどうか。
- ・『各イベントでペンギン行列』とあるが、今年の祇園祭の民謡流しの際、安国寺町内にペンギンが2羽来ていたが、それが行列になると話題になると思う。
- ・トイレの問題は、空き店舗を利用してできないものか。
- ・「ハード事業」で『車椅子の人が休憩できる場所を造ってほしい』とあるが、それも空き店舗を利用できないものか。
- ・観光特区を研究してみたい。
- ・直江津駅前の観光案内所を分かりやすくする方法はないのか。あるいは、観光案内所を、もっと分かりやすい所に移転できないか。
- ・イトーヨーカ堂の交差点辺りに市の土地があるので、そこを道路や通学路の歩道として拡幅すれば、交通渋滞に関しては若干緩和できるのではないか。
- ・直江津駅から水族館までプランターや魚のプレートで「水族館のまち」らしい雰囲気を出せないのか。
- ・タコ公園のトイレが少し奥に入っているので、分かりやすい案内表示を作るべきである。

- ・水族館と屋台会館の間に歩道があり、両サイドにハマナスが植えてあるが、かなり雑草が生えているので、綺麗にしたい。

#### 【町屋委員】

##### 『C班の意見』

- ・この資料に出ている意見は、観光客が来ていることが前提ではないか。
- ・当班では、来ている人にどうするのかではなく、どうすれば人が来てくれるのか、外から人を呼び込むにはどうしたらいいのか等、人を呼び込むことを考えたい。
- ・チラシやマップを作ったらそれをどこへ置くのか。新幹線駅に置くだけでなく、JRの電車内の吊りチラシを使って、関東や北陸に向けてPRすることも必要ではないか。
- ・直江津に来てくれた人たちは何を見に来るのか。何をしたいのか。それは、水族館や海。では、海をどう活かしていくのか。海だけ見てもらえばいいのか。
- ・海を感じてもらえるものは何なのか。長野へ行ったら、やはり蕎麦を食べて帰ってくると思うが、それに匹敵するようなものが上越にはないものか。魚を買って帰るだけでは地元の街中には廻ってもらえない。
- ・直江津にどうやって来てもらうのか。インターネットでのPRは、抽象的だが、例えば水族館にせっかく来たのだから見て廻れるところはないか、食べ物はないか、お土産はないか、その場ですぐ検索してもらえるような仕組みはできないか。
- ・上越に仕事で来たから帰りに直江津へ寄ってみよう。直江津にはどんなものがあるのか、といったサイトを作ったほうがいいのかではないか。
- ・PRのサイトは誰が作り、どのように作るのか。
- ・杓子定規に、ただ紹介だけを作っても人は来てくれるのか。
- ・観光案内のようなものを作るとなると、コーディネーターが必要なのではないか。そういう外部目線も大事なのではないか。(インバウンド)
- ・マップを作成する場合、私たち地元の思いと外部の人達の思いが載せられるとよい。
- ・C班は、「どうやったら人が呼び込めるのか」が核になっていると思う。マップはどうするのか、インターネットはどうするのかなど、「人に来てもらうための」という部分がキーワードになる。

#### 【田村雅春委員】

##### 『D班の意見』

- ・看板・マップ・インターネット等の宣伝の点で提案する必要がある。

- ・掲載内容としては、店名や店の特徴、水族館までの距離、トイレの場所
  - ・トイレの場所は、現在、タコ公園、港の公園、三八通りの場所にある。
  - ・レインボーセンターや直江津学びの交流館に「トイレがある」という表記が一切ない。  
それをきちんと掲示する必要があるのではないかと。街中を歩く人に対する気持ちではないか。
  - ・水族館への距離や名所・旧跡への距離の看板をきちんと作ったほうがいいのではないかと。
  - ・休憩処の問題。近くに休める場所がないので、できれば、お店屋さんとか、所々に椅子を置いて休める場所があればいいのではないかと。
  - ・街中に回遊する際に、商店街に駐車場が必要ではないかと。企業やお寺の土地などの一 corner を借りることはできないかと。
  - ・駅前の駐輪場を綺麗に舗装すればマナーが良くなるのではないかと。
  - ・駅前の観光案内所が分かりづらいため、直江津学びの交流館の一角に移転できないかと。
- ・班討議後、各班の意見発表終了

#### 【荒木係長】

まだ話し合いの途中段階だが、何を優先的に進めていくべきかを発表していただいた。今後、それについて詰めていっていただきたい。

#### 【増田会長】

皆さんには、「観光のこと」、「直江津に来ていただいたお客さんのこと」を真剣に考えていただいている。ほとんどが観光振興課に関することだが、早い時期に「こういうことが課題に上がっている」という情報を提供し、担当課と協議ができればよいと思っている。

今後の進め方だが、21日の開催時に具体的な内容を詰めて、最終の28日までには、各班で絞り込んだものにしていただきたい。

話の中では、「予算化が必要」というものもあれば、「予算化まではいかないけれど、担当課に認識してほしい」というものもあると思う。28日に意見交換しながら協議したいと考えている。その間に担当課へ投げ掛け、担当課から反応があれば、皆さんと相談しながら進めて行きたいと考えている。

21日も含め、28日までに各班で間に合わせていただければよいと思っている。



トイレや駐車場の件など、どこに何があるのかを、場合によっては皆さんの足で調べてもらう必要があるかと思うので、五智と直江津の見やすいマップを用意できないかと事務局へお願いしている。

どんなスタイルでまとめるべきか、バラバラではよくないので、事務局から書式を示していただきたいと思う。

その他に、新水族博物館整備課がまとめた「上越市立水族博物館来場者アンケート集計結果」があるので、参考にさせていただくため、後日委員に配付したいと考えている。

#### 【荒木係長】

事務局で今週中に取組内容を整理記入する書式を用意し、来週から班に分かれて検討できるように準備する。

班で検討する日程が決まり次第、事務局へ連絡していただき、その際に様式をお渡しする。

- ・次回協議会について説明

#### 【増田会長】

他に意見等はあるか。

#### 【池田委員】

前回の会議で直江津学びの交流館の第2駐車場の件を話したが、対策を考えていただく必要があると思っている。レインボーセンターが満車だったら、船見公園まで行って駐車し、レインボーセンターまで歩くというのは非常に危険である。早めに何とかしていただきたい。

#### 【増田会長】

駐車場関連で市から話を聞く必要があると思っている。その辺りのタイミングは事務局と相談していきたい。

#### 【中澤委員】

駐車場のことについては、市議会で村山市長が答えていた。

#### 【増田会長】

市長がどのように答弁されたのかを確認したいと思う。

- ・会議の閉会を宣言

## 9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。